

合併5周年を迎えて

平成16年10月16日、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村の5町村が合併し、「常陸大宮市」としての歴史を刻み始め、合併5周年記念を迎えられたことは、多くの関係者の皆様方のご理解とご支援によるものと、心より感謝申し上げます。

地方自治体を取り巻く環境は、少子・高齢化による急激な人口構造の変化や世界的な不況の影響などで、厳しい財政事情を抱えていますが、本格的な地方分権時代を迎え、行財政改革の更なる推進と自立したまちづくりが求められています。

本市におきましても、財政の健全化は最大の行政課題になっていきますが、「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」という『市の将来像』の一日も早い実現に向け、まちづくりの基礎を固められるよう着実な取り組みを推進することが必要であると存じております。

市政の方針として、事業の計画段階から多くの市民の皆様のご意見をお伺いし、市民と行政との対話を積み重ね、連携を深めることを通して、市民と市との協働によるまちづくりを進めるとともに、より多くの市民の皆様のご意見をもとに、一体的な発展に取り組むことが、今、もっとも求められていることだと存じております。

合併に際しての多くの皆様からの多大なるご尽力に改めて感謝申し上げます、この記念すべき日を新たなスタートとして、市民全員が心を一つにし、常陸大宮市の活力ある発展のために、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

常陸大宮市長

三次 真一郎

平成18年6月号

7月3日、常陸大宮済生会病院が開院診療を開始。

現在は、内科、整形外科等11科の診療と、感染症に対応する2床を含む160床での運営を行っています。



平成19年5月号

4月14日、県内12番目となる消防団女性部が結成。

現在の団員数は25人。平成21年10月22日には全国女性消防操法大会に茨城県の代表として出場しました。



～「広報常陸大宮」の表紙に使用した写真をもとに、5年間の主な出来事を振り返ります～

平成16年10月号(創刊号)

10月16日、常陸大宮市誕生。

2町3村の合併時の人口は平成16年11月1日で48,077人。約5年後の平成21年10月1日現在では45,881人です。



平成17年4月号

3月22日、市章決定。

常陸大宮市の「ひ」の文字を川の流れにたとえ、川の部分の5つのパーツは5つの旧町村をあらわしています。



常陸大宮市合併5周年

平成20年7月号

6月26日、西塩子の回り舞台保存会が第1回ティファニー伝統文化振興賞を受賞。
東京青山で行われた授章式に出席し、ティファニー製のトロフィーと賞金を授受しました。



平成19年8月号

8月1日、市の花・木・鳥が制定。
市民の皆さんから募集した中から、花には「バラ」が、木には「桜」が、鳥には「カワセミ」が選ばれました。



平成20年12月号

第23回国民文化祭・いばらき2008開催。



11月1日
於：大宮公民館塩田分館
グラウンド
オープニングフェスティバル

11月2日
於：市文化センター
全国吟詠剣詩舞道祭

11月8・9日
於：大宮公民館塩田分館
グラウンド
西塩子の回り舞台歌舞伎公演

平成19年11月号

11月11・12日、ねんりんピック茨城2007なぎなた交流大会開催。
市ではなぎなた教室が開催され、市民も大会に出場しました。



平成21年4月号

4月6日、御前山地域の長倉・野口・伊勢畑小学校が統合し、御前山小学校が開校。



平成20年5月号

4月13日、合併してはじめての市長選挙が行われ、三次真一郎市長が誕生。



11月号では、合併記念式典の模様とマスコットキャラクター及び常陸大宮大使について掲載します。